



耐震試験報告書

室内機 : ラウンドフロー
パンタロック : KKSE55A160

ダイキン工業株式会社

オーケー器材株式会社

[1] 目的

ダイキン工業製ラウンドフロー型室内機(以下ラウンドフローと言う) に耐震振れ止め金具(以下パンタロックと言う)を取り付けた場合に、地震が発生しても脱落・破損しないことを3軸振動試験装置を用いた実地震波形での試験を行い確認する。

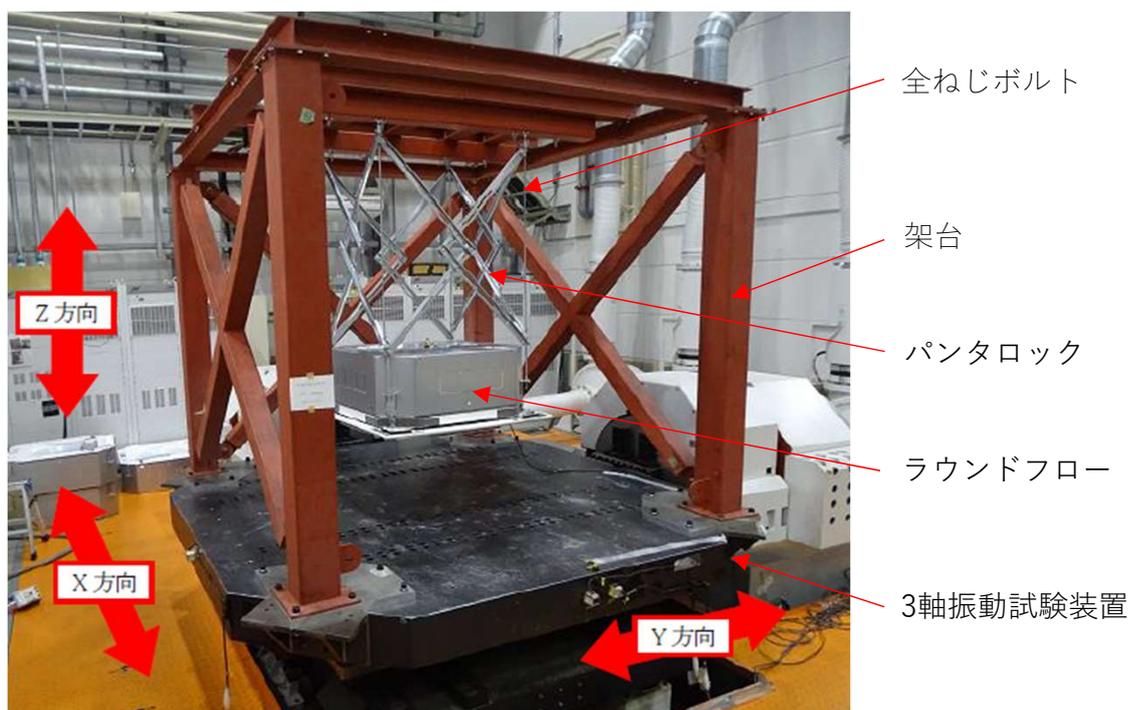
[2] 試験実施機関

IMV株式会社

[3] 方法

3.1 試験装置

3軸振動試験装置に架台を組み、架台からW3/8の全ねじボルトを使用しラウンドフローを吊り下げ、全ねじボルトにパンタロックを取り付ける。(現地配管は繋がらないものとする)



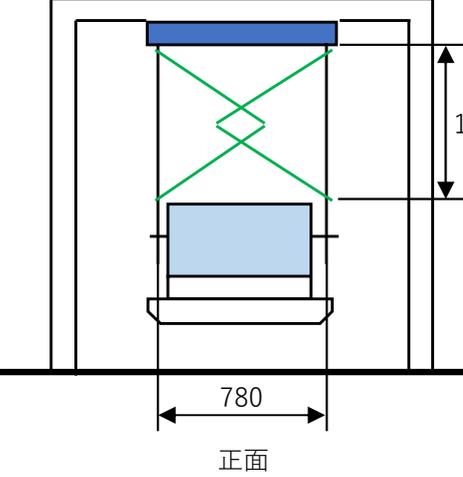
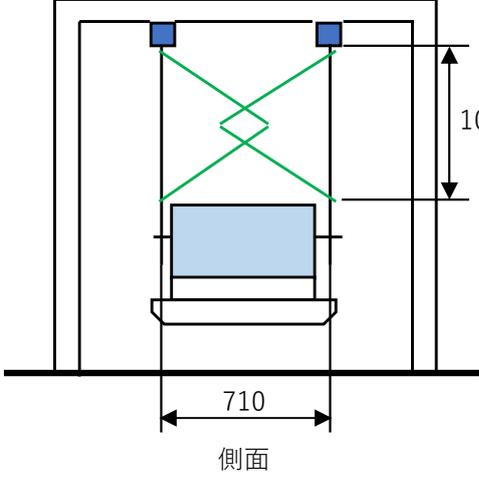
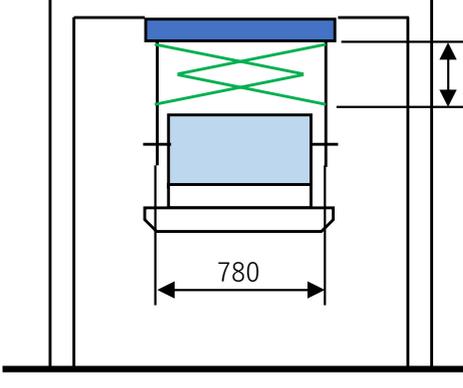
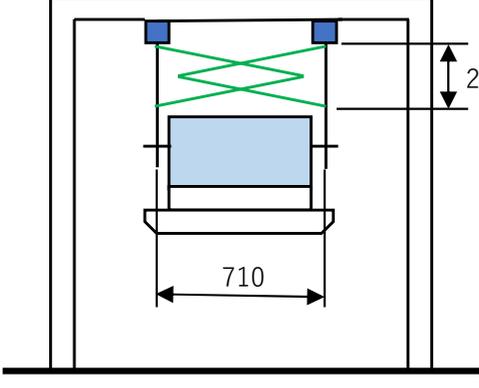
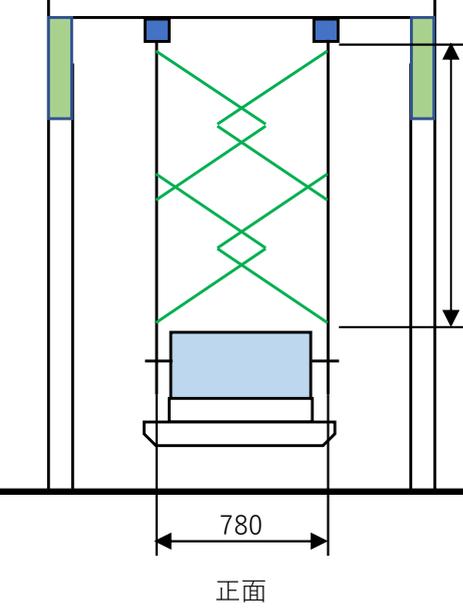
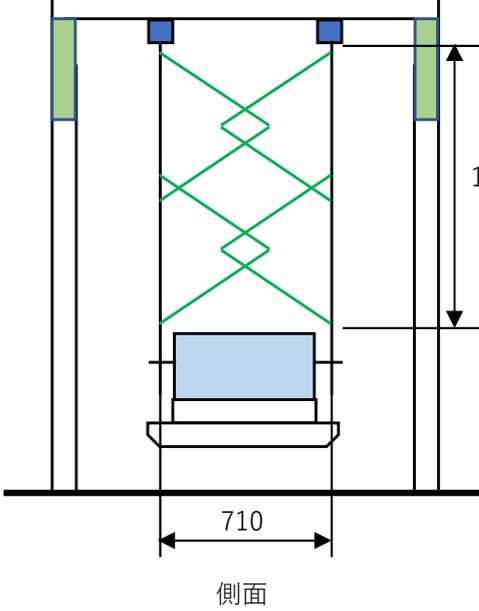
3.2 試験機

ラウンドフロー(FXYFP160EB)	26kg
高性能フィルターユニット(KAF557D160)...	4.2kg
エコパネル(BYCP160EAF).....	5.5kg
合計質量	35.7kg

3.3 試験条件

試験時の寸法を下表に示します。

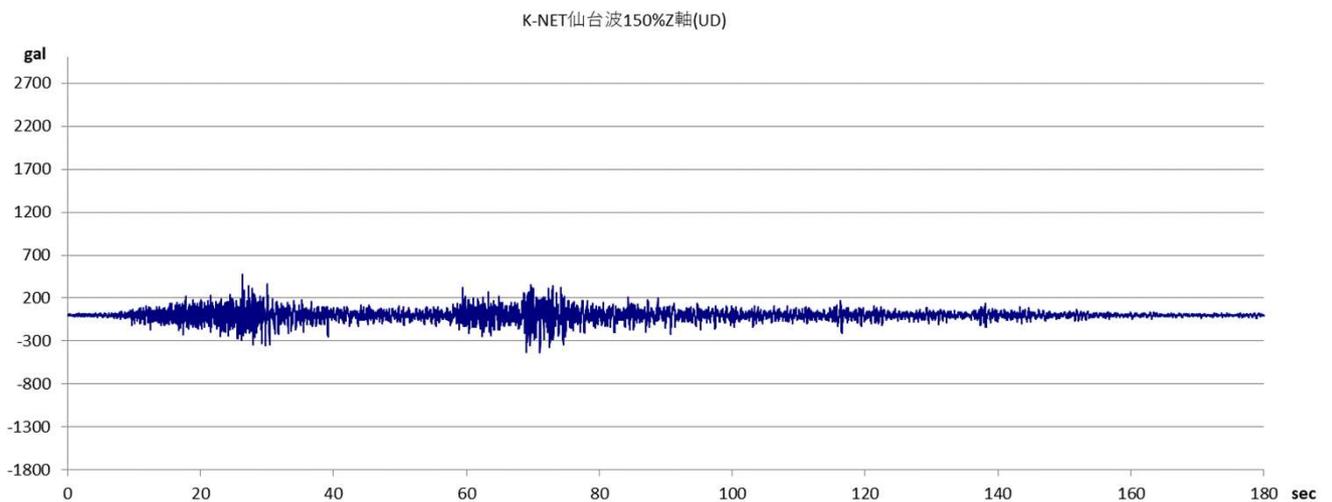
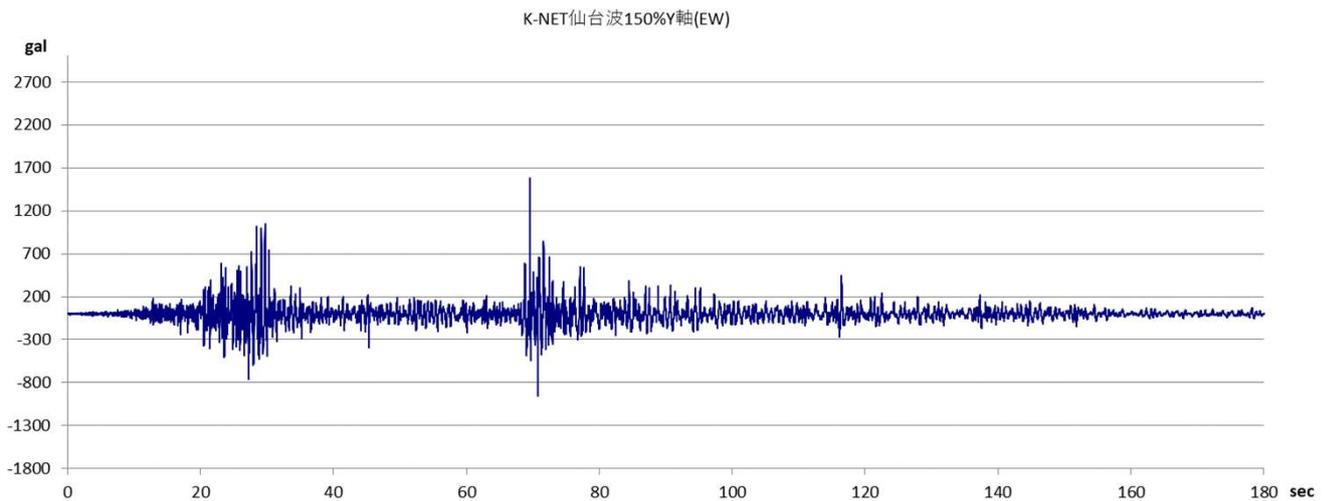
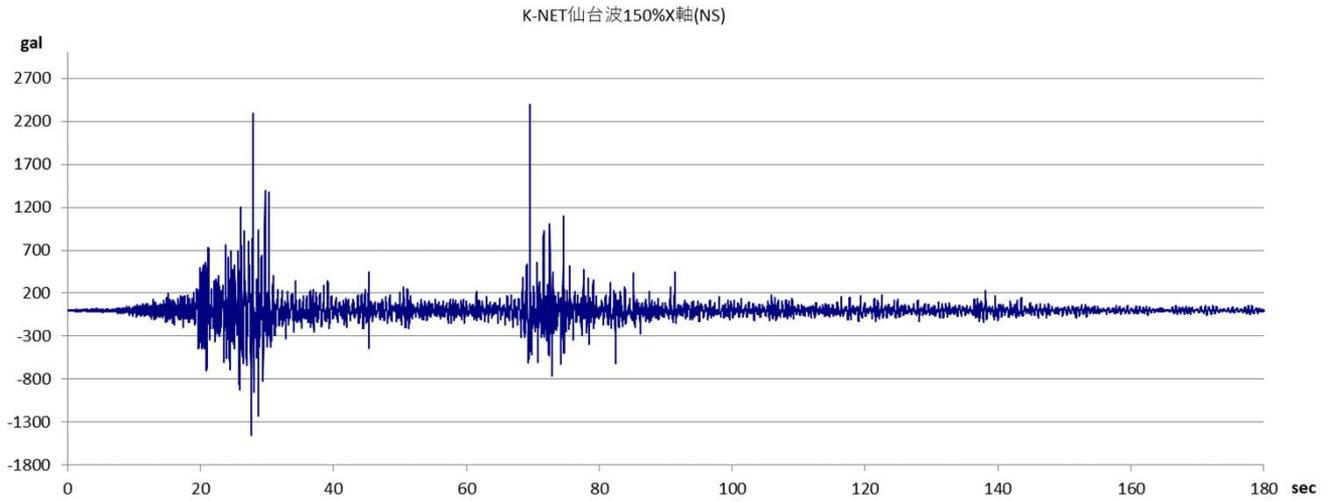
吊り高さは、1段使いでは1000mm、250mmの2パターン、2段使いは1850mmの1パターンで試験を実施。

試験番号	試験イメージ	
No.1	 <p style="text-align: center;">正面</p>	 <p style="text-align: center;">側面</p>
No.2	 <p style="text-align: center;">正面</p>	 <p style="text-align: center;">側面</p>
No.3	 <p style="text-align: center;">正面</p>	 <p style="text-align: center;">側面</p>

3.4 加振波

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震(K-NET仙台データ)に地震波を150%に増幅した加振波を加える。
 ※加振波は、主要な振動を抽出したものを使用しております。

入力加振波



[4] 試験結果

4.1 【試験No.1】

1段使い高さ1000mm(1段積み最大高さ)

●判定基準

地震波を入力し、パンタロック及びラウンドフローの状態を目視確認し、

- ①脱落・破損がないことを確認する。
- ②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損がないかを確認する。

●試験結果

- ①パンタロック及びラウンドフローに脱落・破損はありませんでした。
- ②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損はありませんでした。



試験前



試験後

4.2 【試験No.2】

1段使い高さ250mm(1段積み最小高さ)

●判定基準

地震波を入力し、パンタロック及びラウンドフローの状態を目視確認し、

①脱落・破損がないことを確認する。

②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損がないかを確認する。

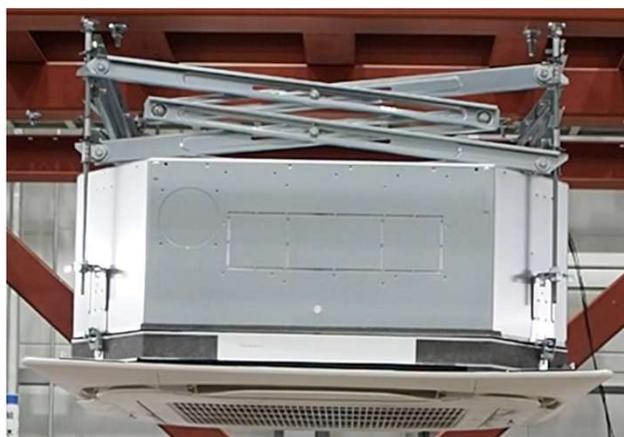
●試験結果

①パンタロック及びラウンドフローに脱落・破損はありませんでした。

②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損はありませんでした。



試験前



試験後

4.3 【試験No.3】

2段使い高さ1850mm(2段積み最大高さ)

●判定基準

地震波を入力し、パンタロック及びラウンドフローの状態を目視確認し、

- ①脱落・破損がないことを確認する。
- ②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損がないかを確認する。

●試験結果

- ①パンタロック及びラウンドフローに脱落・破損はありませんでした。
- ②試験後ラウンドフロー内部配管の破損・電装品の破損はありませんでした。



試験前



試験後